ケンコー デジタルカメラ DSC880DW 取扱説明書

このたびはデジタルカメラ「DSC880DW」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。
また、取扱説明書は必ず大切に保管してください。

目次

目次

はじめに

このたびは、デジタルカメラ「DSC880DW」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。

■結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。

■著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。
　また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。

■本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、
　当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめ
　ご了承ください。

■取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

■本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。一部実際とは異なります。

■本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。

■製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。

■本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

■カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

■液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯が
　あります。液晶パネルメーカーの保証値となります。また記録される画像には影響されません。

安全上のご注意　必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の表示で説明しています。

⚠危 険	⚠警 告	⚠注 意
この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

危 険

■可燃性ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。

■本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。

■本製品を高温の場所（真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど）で使用、保管しないでください。

⚠ 警 告

■本製品で太陽または強い光源を見ることは絶対にしないでください。失明など永久視力障害の原因となります。

■目に深刻な損傷を与える恐れがありますので、近距離（1メートル以内）で フラッシュを発光させないでください。

■本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。

■本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。

■製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。

■カメラに何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。

■感電の恐れがありますので、濡れた手で電池／SDカード室カバーを開けないで下さい。

■カメラの分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。

■本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因になります。

安全上のご注意　必ずお読みください。

⚠ 警 告

■小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にカメラを放置しないでください。

■ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。

■ポリ袋（包装用）などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。

⚠ 注 意

■本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。

●砂、ほこり、ちりの多い場所　●火の近く　●湿ったところ　●振動の激しい場所　●温度･湿度の変化が激しい場所

■車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので、使用および保管は避けてください。

■カメラを落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。

■レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。

■電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。

■本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。

■本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。

■ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

■電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。

■撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。

■本製品のレンズや液晶モニターが汚れたとき、市販のクリーニング布で拭き取ってください。汚れたままですと、鮮明な写真を撮影することができません。

■ラジオやテレビのお近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。

安全上のご注意　必ずお読みください。

防水性能

■カメラの防水性能は、IPX8相当です。
■水中でのカメラの耐水性を維持するために、連続して60分以上使用しないでください。
■付属のアクセサリーは防水でありません。

水中で使用する前の注意

（砂だらけまたは埃っぽい環境、または水辺で次の行為を行わないでください）

■乾電池/microSDカードスロット･ミニUSB端子の周りが汚れていないことを確認し、埃や砂、または異物が中に入らないようにしてください。
■電池/microSDカード室カバーのゴムパッキンに亀裂や傷が付いていないことを確認してください。
■電池/microSDカード室カバーが閉じ、ロックがされていることを確認してください。
■カメラに異常がないことを確認します。カメラを落とした場合、販売店で故障していないか確認するようにお勧めします。

通常使用の場合の注意

（付属USB-PC接続ケーブルをコンピューターに直接接続する場合。
電池/microSDカード室カバーに触れてゴムパッキンを傷つけないように注意してください。防水性能が失われる原因となります）

■水辺（海、湖、海岸など）で電池/microSDカード室カバーを開けたり閉じたりしないでください。
　濡れた手、または砂や埃の付いた手でカバーを開けたり閉じたりしないでください。
■カメラに使用するアクセサリー(バッテリーなど)は防水ではありません。使用の際は十分に注意してください。
■耐水性が失われることになるため、カメラを落とさないでください。
■耐水性が失われないように、40°C 以上または0℃以下の温度環境にカメラを保管しないでください。
■ご自分でカメラに防水を施したり通気口を密閉したりしないでください。カメラの防水機能が損なわれる原因となります。

カメラを水中等で使用するとき

■カメラの防水性は真水と塩水にのみ適用されます。洗剤、化学薬品、または温泉水には適用されません。このような液体がかかった場合、
　直ちに拭き取ってください。
■水深3.0m以上の水中では使用しないでください。
■カメラを圧力のかかった水に浸けないでください。
■60分以上長く、水に浸けないでください。カメラを水中で60分使用したら、10分以上乾かしてください。
■カメラを35℃以上の温水に浸さないでください。
■カメラが濡れていたり水中にある場合、電池/SDカード室カバーを開けたり閉じたりしないでください。
■濡れた手で電池/microSDカード室カバーを開けたり閉じたりしないでください。
■水気のあるところやプールの傍で電池/microSDカード室カバーを開けないでください。
■カメラは防塵処理を施されていません。
■カメラを水中で叩いたり打ち付けたりしないでください。電池／microSDカード室カバーが開くことがあります。

安全上のご注意　必ずお読みください。

カメラを使用した後

■水中での撮影後は以下の簡単なメンテナンスで、カメラの外観、品質、耐水性が保たれます。
■海中で写真を撮影した後は、塩分を含まない水の入ったバケツでカメラを洗浄してください。電池/microSDカード室カバーが閉じていることを確認し、バケツ1杯の水に10分ほど浸します。その後、水から取り出して、カメラとレンズを脱脂綿で拭いて乾かします。カメラを通気のよい日陰に置いて自然乾燥させます(直射日光に当てたり、風雨にさらされる場所に置かないでください)。カメラが完全に乾いたことを確認してから、電池/microSDカード室カバーを開けてください(脱脂綿を当てて水分をよく取るか、カバー周りの他の不純物を取り除いてから、電池/microSDカード室カバーを開けます)。
■柔らかい糸くずの出ない布(繊維状の物質を防ぐため)でカメラとレンズの水滴を拭き取り、換気のよい場所において乾燥させます。電池カバーは乾燥しないうちに開けないでください。水気がある間に開けると、カメラに水が入る恐れがあります。　開けるときは底面を下にして水滴がカメラ内部に入らないようにしてください。
■電池カバーを開ける前に、必ずカバー内部の水滴を拭き取ってください。

メンテナンス上の注意

■防水のシーリング材やその収縮面の埃や砂をよく拭き取ってください。埃や砂が残っているとシーリング材や面を傷つけ、防水性が落ちる可能性があります。
■石けん水、中性洗剤、アルコールまたは類似液体でカメラを洗浄しないでください。カメラの防水性が落ちる原因となります。
■防水用シーリング材の経年変化により防水性能は低下します。

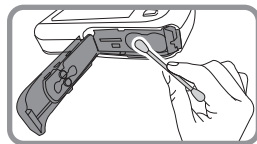
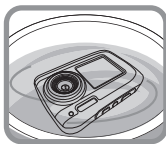
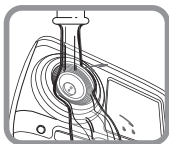
その他の注意

■水中でカメラに水が入ったり、その他の問題が発生した場合、直ちに使用を中止し適切な処置を取ってください。
処置方法は販売店またはKenko「お客様相談室」にお尋ねください。

水道水で異物を洗い流します。

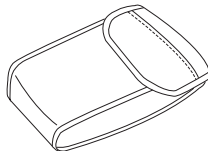
真水に10分程度浸します。

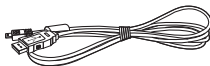
綿棒等で水滴を拭き取ります。

乾燥後、電池/SDカード室カバーを開きます。

カメラの紹介

セット内容

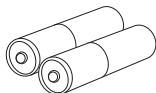
パッケージに、次の品目が同梱されていることを確認してください。
足りない品目や破損している品目がある場合、ただちに販売店に連絡してください。

カメラ本体

ポーチ

取扱説明書（本書）

USB-PC接続ケーブル

ストラップ

単4形アルカリ乾電池（2本）

DSC 880DW
クイックスタート
ガイド

クイックスタートガイド

カメラの紹介

各部の名称

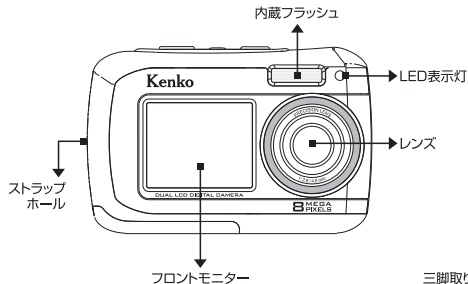
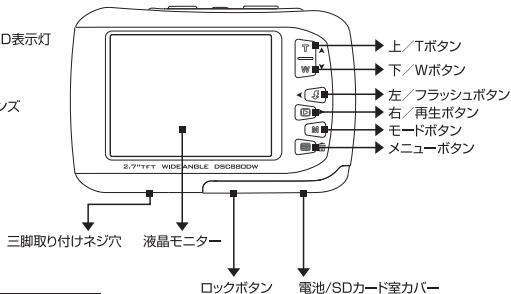
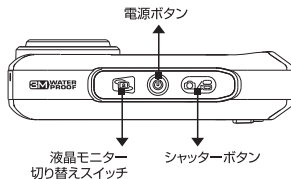
前面

内蔵フラッシュ
LED表示灯
レンズ
ストラップホール
フロントモニター

背面

上／Tボタン
下／Wボタン
左／フラッシュボタン
右／再生ボタン
モードボタン
メニューボタン
三脚取り付けネジ穴
液晶モニター
ロックボタン
電池/SDカード室カバー

上面

電源ボタン
液晶モニター切り替えスイッチ
シャッターボタン

カメラの紹介

ボタンの機能を紹介します

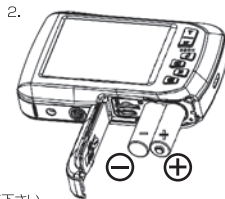
ボタン	名　称	機　能
	電源ボタン	電源をオン/オフします。
	シャッターボタン	静止画モードでシャッターボタンを押すと静止画を撮影します。 動画モードでシャッターボタンを押すと動画を撮影します。再度押すと録画を停止します。
	液晶モニター切り替えボタン	液晶モニターとフロントモニターとの表示を切り替えします。
T / W	ズーム(上／T、下／W)ボタン	静止画／動画の撮影時、ズームボタンになります。 メニュー画面の時、上下に移動して項目を選択します。
	左／フラッシュボタン	メニュー画面の時、左へ移動して項目を選択します。 静止画撮影時、内蔵フラッシュの切り替えをします。
	右／再生ボタン	メニュー画面の時、右へ移動して項目を選択します。 静止画／動画の再生をします。
M	モードボタン	静止画／動画 のモードを切り替えます。 P.19「モードの変更」をご覧ください。
	メニューボタン	静止画／動画 の設定及び、カメラの機能設定を行います。

ご使用の前に

乾電池の取り付け

カメラに単4形アルカリ乾電池をセットします。

電池の取り付けは、ここに示す方法で行ってください。
電池の取り付け方法が正しくないと、カメラが破損したり、火災、浸水の原因になることもあります。

1. ロックボタンを液晶モニター方向にスライドしてロックを解除をしながら、
電池/SDカード室カバーをストラップホール方向にスライドさせ開きます。
2. ⊕⊖ 方向を確認して、単4形アルカリ乾電池をセットします。
3. 電池/SDカード室及びカバーに砂等の異物や汚れがない事を確認してから
電池/SDカード室カバーを閉じて軽く押しながら三脚取り付けネジ方向にスライドさせ、ロックを確認して下さい。
ロックが不充分な場合、防水性能が維持されません。

● 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
● 電池は⊕⊖方向に注意し、正しくセットしてください。

◆電池残量については、液晶モニター上のバッテリーアイコンに表示されます。
電池残量は充分です。
電池残量は約半分です。
電池残量がわずかです。予備の電池を用意してください。
「電池残量がありません」と表示され自動的に電源オフします。電池を交換してください。
◆単4形アルカリ乾電池またはニッケル水素充電池をご使用ください。
ニッケル水素充電池を使用した場合、電池残量表示が均等に表示されませんのでご注意ください。
◆電池をカメラの中にいれたまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。カメラを長期間使用しないとき(およそ1ヶ月以上)は
電池を取り出してください。
◆カメラの操作に必要な電力を得ることができないマンガン電池は、使用できません。
◆電池は、気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。
カメラを長時間使用すると電池およびカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

ご使用の前に

アルカリ乾電池に関する安全上の注意（対象:アルカリ乾電池使用カメラ）

⚠ **警 告**　付属のアルカリ乾電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

①ショート、分解、加熱、充電（＋）、（－）の逆方向にセットをしないでください。使用済みの電池を火に入れるなどしないでください。
また、新しい乾電池と使用した乾電池を混用で使用しないでください。使い切った乾電池はすぐにカメラから取り出してください。

②カメラは電源が切れていても微弱電流が流れています。長期間（およそ1ヶ月以上）カメラを使用しない場合は、乾電池を取り外して保管してください。

③乾電池は乳幼児の手の届かない所に置き、乾電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。乾電池のアルカリ液がもれて、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。

④同梱品の乾電池はサンプルです。使用可能時間が一般的な乾電池に比べて短い場合があります。

⑤使用済みの乾電池は、お住まいの自治体が定めた方法で処分してください。

リチウムイオン充電池に関する安全上の注意（対象:リチウムイオン充電池使用カメラ）

⚠ **警 告**　付属のリチウムイオン充電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

①初回使用時はフル充電してください。付属の充電器（ACアダプター）以外で充電しないでください。

②ショート、分解、加熱、充電（＋）、（－）の逆方向にセットはしないでください。

③液漏れ等の異常が発見された場合、ただちに使用を中止してカメラから取り外し、お買い上げ先等にお申し出ください。
電解液が、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。

④リチウムイオン充電池をカメラから取り出して保管・持ち運びの場合、安全のためビニール袋・プラスチックケース等に入れてください。

⑤リサイクルのお願い

不要になった電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで
充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

〈最寄りのリサイクル協力店へ〉
詳細は、社団法人 電池工業会ホームページをご参照ください。
・ホームページ http://www.baj.or.jp/

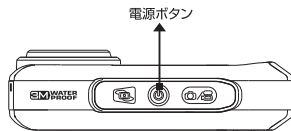
● 使用済み充電式電池の取扱注意事項
－ プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
－ 皮覆をはがさないでください。
－ 分解しないでください。

ご使用の前に

電源のオン／オフ

電源ボタンを約1秒押すと電源がオンになります。

液晶モニターがオンします。

再度電源ボタンを約1秒押すと電源がオフになります。

ストラップの取り付け

右の図を参考にして、

ストラップホールにストラップを取り付けてください。

microSD/SDHCメモリーカード(別売)を使用する。

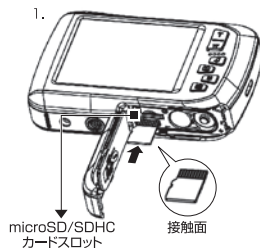
本製品で撮影した画像は、microSDメモリーカードに記録されます。
microSDメモリーカード(別売)をカメラ底面のmicroSD/SDHCカードスロットにセットしてください。
動画・静止画撮影をすると自動的にmicroSDメモリーカードに記録されます。

microSDメモリーカード

● このカメラに使用できるメモリーカードの仕様は、microSDメモリーカード128MB～2GB、microSDHCメモリーカード32GBまでです。
その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。

microSD/SDHCメモリーカードを取り付ける

microSDメモリーカードはカメラ底面のmicroSDメモリーカードスロットにセットします。

1. microSDカードスロットにmicroSDメモリーカードの接触面がカメラ後面側になるようにして、microSDメモリーカードがカチッと音がするまで押し込みます。
2. microSDメモリーカードを取り外す時は、microSDメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。microSDメモリーカードが少し飛び出ます。

◆新しいmicroSDメモリーカードを使用される際は、あらかじめmicroSDメモリーカードのフォーマット（初期化）（P.18参照）をしてください。
◆撮影した画像に付けられるファイル名の番号（IMG○○○○）はmicroSDメモリーカード内の画像を消去しても連続してカウントされます。
◆カメラがmicro SDメモリーカードを認識すると液晶モニターに SD アイコンが表示されます。

● 差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。
● microSDメモリーカードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
● すべてのmicroSDメモリーカードで動作を保証するものではありません。
● 他のカメラ等で撮影したファイルが保存されたmicroSDメモリーカードをセットすると誤動作する場合があります。必ずDSC 880DWでフォーマットしてから使用してください。

ご使用の前に

microSD/SDHCメモリーカードを使用する前に

◆ 新しいmicroSDメモリーカードは使用前に本製品でフォーマット(初期化)してください。

◆microSDメモリーカードをセットすると、カメラはmicroSDメモリーカードを認識します。

◆この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.4〜8に記載されていますので必ずよくお読みください。

●パソコンに接続、データ転送中や、撮影/再生中にmicroSDメモリーカードを引き抜かない
パソコンとカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にmicroSDメモリーカードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、microSDメモリーカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。

●microSDメモリーカードのフォーマット(初期化)はカメラで
本製品にはmicroSDメモリーカードをフォーマット(初期化)する機能がついています。
フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。

◆下記の注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。

ファイル名/ディレクトリ名を変更しない

パソコンでSDメモリーカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。

● microSDメモリーカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、microSDメモリーカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動など障害が起こる恐れがあります。

● microSDメモリーカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

● microSDメモリーカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。(フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承の上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。)

● 電極部(金色の金属部分)が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。

ご使用の前に

メモリーのフォーマット

メモリーをフォーマット（初期化）する機能です。

● microSDメモリーカードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
● フォーマットを行うとmicroSDメモリーカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
● microSDメモリーカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。（パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません。）
● 保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されてしまいます。
● フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押して「メニュー画面」を表示します。
3. 左／フラッシュボタンまたは右／再生ボタンを押して「設定メニュー 」を表示します。
4. 上／Tまたは下／Wボタンを押して「フォーマット」を選択し、シャッターボタンを押します。
5. 上／Tまたは下／Wボタンを押して、「はい」または「いいえ」を選択し、シャッターボタン押して決定します。

   はい　：フォーマットします。

   いいえ：フォーマットしません。
6. メニュー画面に戻ります。
7. メニューボタンを押して撮影画面に戻ります。

2.

静止画サイズ 8M
画質
測光方式
ホワイトバランス
ISO感度
選択　戻る

3.

ビープ音 OFF
電源周波数 50Hz
自動電源オフ 3min
Language JPN
日付/時刻
選択　戻る

4.

5.

設定により表示されるアイコンは異なります。

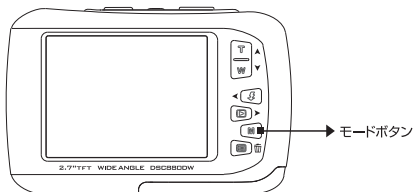
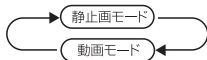
◆ 黄色地が選択されています。

ご使用の前に

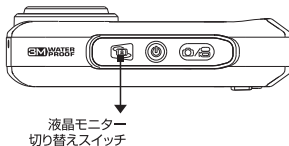
LEDランプ表示

表示灯	色	説　明
LED表示灯	赤色の点灯	起動時に1度点灯します。
	赤色のゆっくり点滅	録画中です。
	赤色の点滅	セルフタイマーが作動中です。
	赤色の速い点滅	セルフタイマーの残り時間が約2秒です。

モードの変更

モードボタンを押すごとにモードが切り替わります。
静止画モード／動画モードに切り替わります。

液晶モニター表示の切り替え

液晶モニター（背面）とフロントモニター（前面）表示切り替えをします。

1. カメラの電源をオンにします。液晶モニターが表示されます。
2. 「液晶モニター切り替えボタン 」を押すごとに、フロントモニター／液晶モニター表示が切り替わります。

◆ 前面のフロントモニターを表示すると、モニターに静止画／動画モードアイコンが表示されます。
動画撮影中はフロントモニターに 動画撮影アイコンが点滅します。

◆ フロントモニターでは、メニュー等の表示･操作はできません。

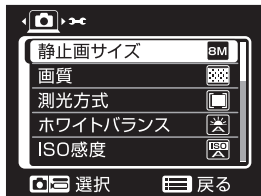
日付／時刻の設定

カメラを初めて使用する前に、日付／時刻を設定します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押して「メニュー画面」表示します。
3. 左／フラッシュボタンまたは右／再生ボタンを押して「設定メニュー 」を表示します。
4. 上／TまたはT／Wボタンを押して「日付／時刻」を選択し、シャッターボタンを押します。
5. 上／Tまたは下／Wボタンを押して、年を設定し、右／再生ボタンを押して項目を移動します。
   左／フラッシュボタンを押すと前の項目に戻ります。
6. 年月日 時分すべての数値を調整しましたら、年月日の表示順を設定し、シャッターボタンを押して決定します。
   年月日の表示はYY(年)／MM(月)／DD(日)となります。
7. メニュー画面に戻ります。
8. メニューボタンを押して撮影画面に戻ります。

2.

4.

5.

設定により表示されるアイコンは異なります。

◆ 黄色地が選択されています。

◆ 日付／時刻は、静止画･動画共にファイルデータとして記録されますので、できる限り正確に設定してください。

◆ 日付／時刻もリセットすると出荷時の設定に戻りますのでご注意ください。

ご使用の前に

言語の設定（初期設定：日本語）

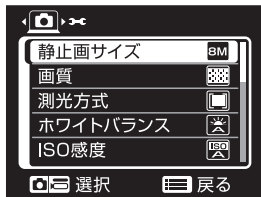
液晶モニターに表示する言語を設定します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押して「メニュー画面」を表示します。
3. 右／再生ボタンを押して「設定メニュー 」を表示します。
4. 上／Tまたは下／Wボタンを押して「Language」を選択し、シャッターボタンを押します。
5. 上／Tまたは下／Wボタンを押して表示する言語を選択し、シャッターボタンを押して決定します。
   選択可能な言語は、
   英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、日本語です。
6. メニュー画面に戻ります。
7. メニューボタンを押して撮影画面に戻ります。

2.

静止画サイズ 8M
画質
測光方式
ホワイトバランス
ISO感度 ISO
選択
戻る

4.

5.

設定により表示されるアイコンは異なります。

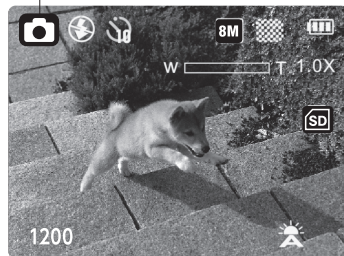
◆ 日本語以外の言語を使用中に「初期設定に戻す」（リセット）すると、言語も日本語に戻りますのでご注意ください。
◆ 黄色地が選択されています。

静止画モード

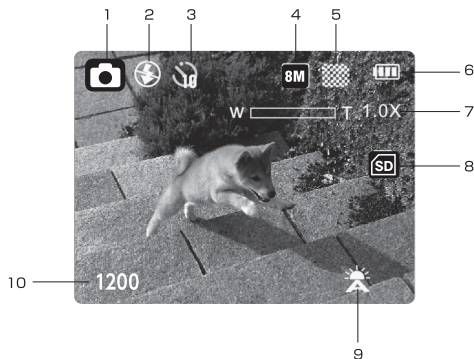
静止画の撮影

1. カメラの電源をオンにします。本機は、「静止画モード」で起動します。
2. 液晶モニター（またはフロントモニター）で、被写体を確認し、
   必要に応じてズームを使用して構図を決定します。
3. しっかりとカメラを構えてシャッターボタンを押して撮影します。
4. 撮影された静止画は、個別のファイル名が付いて保存されます。

◆ 水中で撮影した場合、全体に青っぽくなる場合があります。
お好みの色調にしたい場合は、画像ソフト（別売）で色補正してください。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画モード

静止画モード

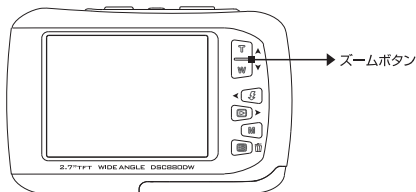
静止画モードの操作画面

1		静止画モード
2		フラッシュ（発光禁止）
3		セルフタイマー（10秒）
4	8M	静止画サイズ（8M）
5		画質（高画質）
6		電池残量
7	W T 1.0X	ズームインジケーター（1.0X）
8	SD	メモリー表示 SD：micro SDメモリーカード使用中
9		ホワイトバランス（オート）
10	1200	静止画撮影可能枚数（目安です）

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画モード

ズーム撮影

デジタル4倍のズームが搭載されています。

ズームボタンのT側ボタンを押すと、ズームイン(拡大)します。
ズームボタンのW側ボタンを押すと、ズームアウト(縮小)します。

● ズームの倍率が大きくなると解像度は低下します。

撮影距離

正しい撮影距離で撮影されていない場合、ピントが合いませんのでご注意ください。

撮影距離:0.15m〜∞(無限大)

◆ 本機にはマクロモードはありません。

内蔵フラッシュ

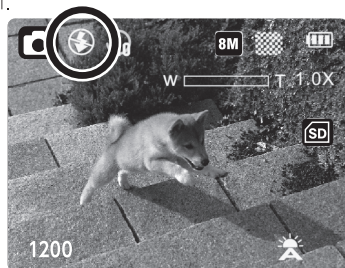
内蔵フラッシュを設定します。フラッシュモードは撮影条件に応じて変更してください。

1. 左／フラッシュボタンを押してフラッシュモードを切り替えます。

自動　　：被写体周辺の光量が不足している場合、自動的に発光します。

強制発光：どんな状況でも発光します。逆光等での撮影時に選択します。

発光禁止：どんな状況でも発光しません。博物館等の発光が禁止されている場所や、被写体までの距離が離れている撮影時に選択します。

1.

● 内蔵フラッシュの有効範囲は約1.2m～1.6mです。

◆ フラッシュの充電中は、LED表示灯と アイコンがゆっくり点滅して撮影できません。

◆ 電池残量が少ない場合、充電に時間がかかる場合があります。

◆ 静止画のみの機能です。

◆ 電源をオフにすると、設定は発光禁止に戻ります。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

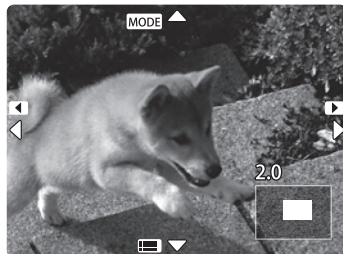
静止画再生モード

静止画の再生

1. 電源をオンします。右／再生ボタンを押します。
   最後に撮影された静止画·動画ファイルが液晶モニターに表示されます。
   静止画ファイルを左／フラッシュボタンまたは右／再生ボタンを押して選択します。
2. ズームボタンのT側（上）を押すと拡大表示されます。
   W側（下）を押すと縮小して元に戻ります。
3. 拡大表示時、モードボタンを押すと上へ移動、メニューボタンを押すと下へ移動、
   左／フラッシュボタンを押すと、左へ移動、
   右／再生ボタンを押すと拡大部分が右に移動します。
4. ズームボタンのW側（下）を押し、縮小して元に戻ります。
   モードボタンを押すと、撮影モードに戻ります。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画再生モードアイコン

拡大表示

静止画ファイルのサムネイル表示

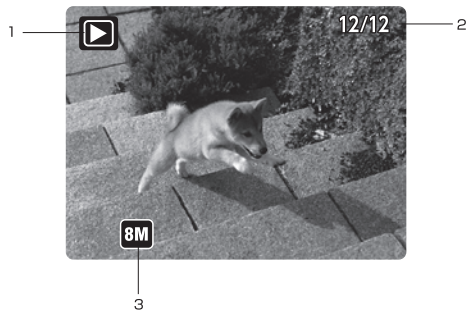
9画面のサムネイル表示されます。

1. 右／再生ボタンを押して再生モードにします。
2. ズームボタンのW側を押すと9画面のサムネイル表示されます。
   動画ファイルの場合は、最初のシーンが表示されます。
3. 上下／左右ボタンを押してピンク枠を移動してファイルを選択し、
   シャッターボタンを押すと選択されたファイルが一画面表示されます。
4. ズームボタンのW側を再び押すと9画面のサムネイル表示されます。

2. 静止画･動画ファイルのサムネイル画面

※説明のために作成したもので
　一部実際と異なります。

静止画再生モード

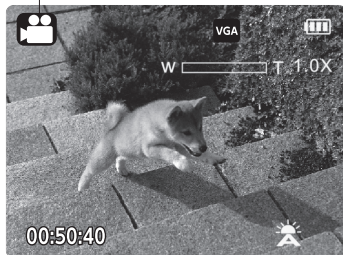
静止画再生モードの操作画面

1	▶	再生モード
2	12/12	現在のファイル／総ファイル数
3	8M	静止画サイズ(8M)

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

動画モード

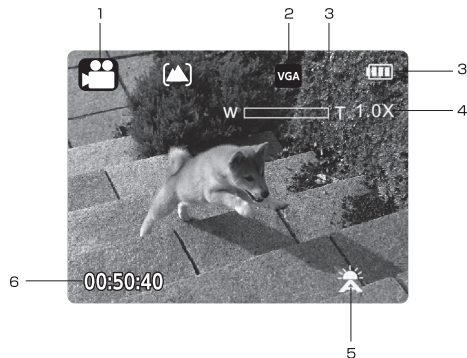
動画の撮影

1. カメラの電源をオンにします。本機は、「静止画モード」で起動します。
2. モードボタンを押して「動画モード」にします。
3. 液晶モニターで、被写体を確認し、必要に応じてズームを使用して構図を決定します。
4. しっかりとカメラを構えてシャッターボタンを押して撮影します。
5. 動画撮影中に右／再生ボタンを押すと、一時停止します。
   再度、右／再生ボタンを押すと動画撮影を再開します。
6. 撮影された動画は、個別のファイル名が付いて保存されます。

動画モード

● 一時停止中、「停止 [II] 」アイコンが表示されます。
● 動画1ファイルの最大サイズは、4GBです。

◆ 水中で撮影した場合、全体に青っぽくなる場合があります。あらかじめご了承ください。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

動画モード

動画モードの操作画面

1		動画モード
2	VGA	動画サイズ（VGA）
3		電池残量
4	W T 1.0X	ズームインジケーター（1.0X）
5		ホワイトバランス（オート）
6	00:50:40	動画撮影可能時間（目安です）

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

ズーム撮影

P.25「ズーム撮影」をご覧ください。

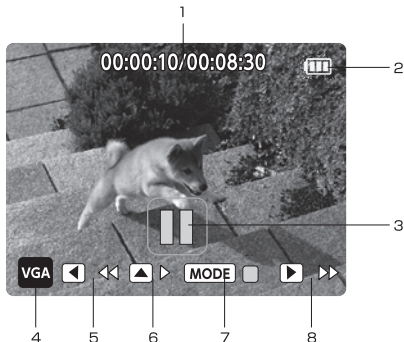
動画再生モード

動画の再生

1. 電源をオンします。右／再生ボタンを押します。
   最後に撮影された静止画・動画ファイルが液晶モニターに表示されます。
   動画ファイルを左／フラッシュボタンまたは右／再生ボタンを押して選択します。
2. 上／Tボタンを押すと再生を開始します。
   右／再生ボタンを押すと早送り、左／フラッシュボタンを押すと早戻しします。
4. 上／Tボタンを押すと、再生が一時停止します。もう一度押すと、再生が再開します。
5. モードボタンを押すと再生を終了します。動画ファイルの最初のシーンに戻ります。
6. モードボタンをもう一度押すと、撮影モードに戻ります。

◆ カメラでは、音声は再生されません。パソコンで再生時には音声も再生されます。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

動画再生モード

動画再生モードの操作画面

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1	00:00:10/00:08:30	ファイルの再生時間／撮影時間
2	(電池アイコン)	電池残量
3	(一時停止アイコン)	一時停止
4	VGA	動画サイズ(VGA)
5	◀ ◁◁	早戻し
6	▲ ▷	再生
7	MODE ▢	再生終了
8	▶ ▷▷	早送り

サムネイル表示

P.28「静止画ファイルのサムネイル表示」をご覧ください。

静止画メニュー

静止画モードの基本設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して項目を選択し、
   シャッターボタンを押し、サブメニューを表示します。

◆ 黄色地が選択されています。

静止画サイズ(初期設定:8M)

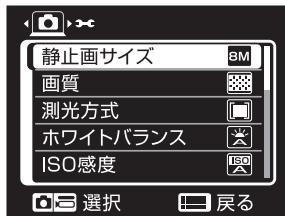
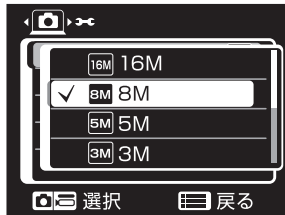
静止画サイズを設定します。

1. 「静止画サイズ」を選択します。
2. シャッターボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。
   - 16M 16M：約1600万画素（ソフトウェア補間）
   - 8M 8M　：約800万画素
   - 5M 5M　：約500万画素
   - 3M 3M　：約300万画素
   - VGA VGA：約30万画素
4. メニューボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。

● サイズを大きくすると高画質になりますが、データ容量が大きくなり、
同じmicroSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。

1.

静止画サイズ 8M
画質
測光方式
ホワイトバランス
ISO感度
選択
戻る

3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

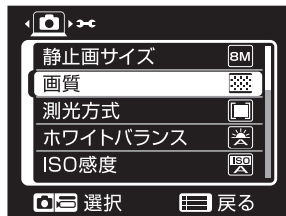
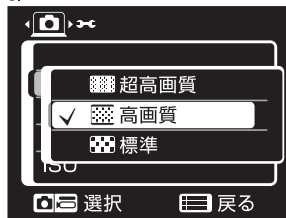
画質(初期設定:高画質)

画質を設定します。

1. 「画質」を選択します。
2. シャッターボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上/Tまたは下/Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。
   - 超高画質:最高画質で撮影します。
   - 高画質 :高画質で撮影します。
   - 標準 :標準画質で撮影します。
4. メニューボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。

◆高画質にするとデータ容量が大きくなり、同じmicro SDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。

1.

3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

測光方式（初期設定：マルチ測光）

撮影するシーンを設定し、より簡単に雰囲気のある撮影をします。

1.「測光方式」を選択します。

2. OKボタンを押してサブメニューを表示します。

3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

- 中央測光　：中心部周辺を測光します。
- マルチ測光：平均的に測光します。
- スポット測光：任意のスポットを測光しますので、周辺がやや暗くなったり白っぽくなる場合があります。

4. メニューボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。

1.

3.

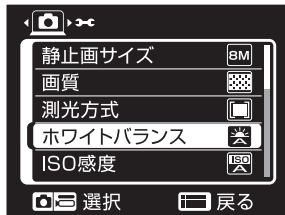
設定により表示されるアイコンは異なります。

ホワイトバランス（初期設定：自動）

自動での色調が思わしくない場合、様々な被写体周辺の状況に応じてホワイトバランスを調整し、希望の色調に近づけます。

1.「ホワイトバランス」を選択します。
2. シャッターボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。
   - 自動　：自動的に調整されます。
   - 太陽光：屋外の太陽下の撮影に適しています。
   - 曇り　：屋外で曇りあるいは日陰での撮影に適しています。
   - 白熱灯：屋内で電球下での撮影に適しています。
   - 蛍光灯：屋内で蛍光灯下での撮影に適しています。
4. メニューボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。

1.

3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

ISO感度（初期設定：自動）

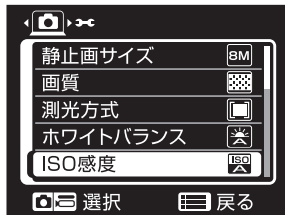
手動でISO感度を変更します。

1. 「ISO感度」を選択します。
2. シャッターボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。
   - 自動　：感度を自動で調整します。
   - ISO100：屋外の晴天時での撮影に適しています。
   - ISO200：屋外の曇天時、または明るい室内での撮影に適しています。
   - ISO400：屋外の曇天時、または光量が少ない室内でLEDフラッシュを発光して撮影する場合に適しています。
   - ISO800：光量が少ない状況下で、LEDフラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。
4. メニューボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。

◆ISO感度を高くすると少ない光量で撮影が可能になりますが、
ノイズが発生する場合があります。

1.

静止画サイズ
画質
測光方式
ホワイトバランス
ISO感度
選択
戻る

3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

露出補正（初期設定：0.0）

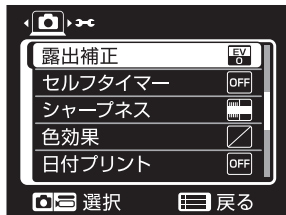
逆光での撮影等の場合、手動で露出補正をし、被写体を最適な明るさに近づけます。
補正範囲は+2.0〜ー2.0EVです。

1. 「露出補正」を選択します。
2. シャッターボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して設定し、シャッターボタンを押して決定します。
   補正範囲は+2.0〜ー2.0EV（1/3EVステップ）です。
4. メニューボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。

◆ 電源をオフにしても、露出補正の設定は保持されます。

1.

露出補正
セルフタイマー
シャープネス
色効果
日付プリント
選択　戻る

3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

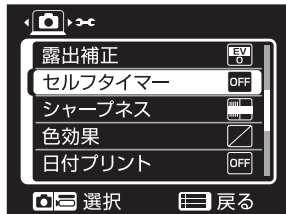
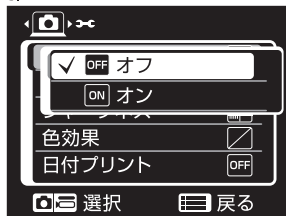
セルフタイマー（初期設定：オフ）

セルフタイマー（10秒）の設定をします。

1. 「セルフタイマー」を選択します。
2. シャッターボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。
   OFF オフ：セルフタイマーを使用しません。
   ON オン：シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影されます。
4. メニューボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。

◆ 電源をオフにしても、セルフタイマーの設定は保持されます。

1.

3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

シャープネス(初期設定:標準)

撮影画像のコントラスト設定をします。

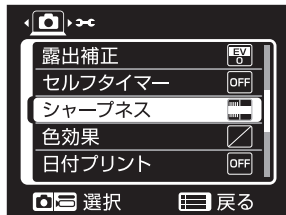
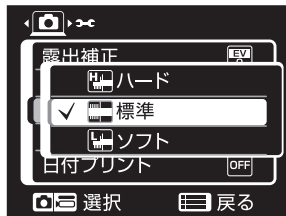
1.「シャープネス」を選択します。

2. シャッターボタンを押してサブメニューを表示します。

3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

- ハード:コントラストを強めにします。
- 標準　:標準撮影します。
- ソフト:コントラストを弱めにします。

1.

3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

色効果（初期設定：標準）

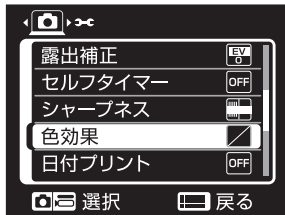
色効果を加えることで、印象の異なる写真にします。

1. 「色効果」を選択します。
2. シャッターボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

標準	：効果を加えません。
白黒	：白黒画像にします。
セピア	：セピア画像にします。
ネガ	:ネガフィルム風な写真にします。
トイカメラ	：トイカメラ風の写真にします。
スケッチ 風	：スケッチ風の写真にします。
赤色	：赤色フィルターのような効果を加えます。
緑色	：緑色フィルターのような効果を加えます。
青色	：青色フィルターのような効果を加えます。
ビビッド	：色味をはっきりと強調します。

4. メニューボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。

1.

3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

日付プリント（初期設定：オフ）

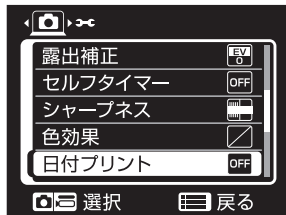
撮影する静止画の日付プリントを設定します。

1.「日付プリント」を選択します。
2. シャッターボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。
   - OFF オフ：設定しません。
   - ON オン：日付プリントを設定します。
4. メニューボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。

◆ 日付プリントの設定は、静止画専用メニューです。
◆ L版サイズでは日付プリントが欠ける場合があります。あらかじめご了承ください。

1.

露出補正
セルフタイマー
シャープネス
色効果
日付プリント
選択
戻る

3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

プレビュー(初期設定:オン)

静止画を撮影した直後、撮影した静止画を約1秒間表示します。

1. 「プレビュー」を選択します。
2. シャッターボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上/Tまたは下/Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。
   - OFF オフ:自動表示を無効にします。
   - ON オン:自動表示を有効にします。
4. メニューボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。

1.

3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

動画メニュー

動画モードの設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。モードボタンを押して動画モードにします。
2. メニューボタンを押します。
3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して項目を選択し、シャッターボタンを押します。

◆ 黄色地が選択されています。

1.

動画サイズ（初期設定:VGA）

動画サイズを設定します。

1. 「動画サイズ」を選択します。
2. シャッターボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、
   シャッターボタンを押して決定します。
   VGA VGA ：640×480（30fps）
   QVGA QVGA：320×240（30fps）
4. メニューボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。

● サイズを大きくすると高画質になりますが、データ容量が大きくなり、
同じmicroSDメモリーカードで撮影できる時間が短くなります。

3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

ホワイトバランス

静止画と同様です。P.37をご覧ください。

削除メニュー

静止画･動画再生メニューを表示します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 右／再生ボタンを押し、削除する静止画･動画ファイルを表示します。
3. メニューボタンを押します。

◆ 黄色地が選択されています。

削除

不要なファイルを削除します。

1.「削除」を選択します。
2. 上／Tまたは下／Wボタンを押して削除する静止画･動画ファイルを選択します。
（全てのファイルを削除する場合は、選択する必要はありません。）
3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押します。

全部：全ファイルを消去します。

一枚：一枚消去します。

●「全て」を選択した場合

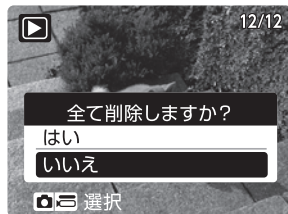
A-1. 上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、
シャッターボタンを押して決定します。

はい　：全てのファイルを削除します。

いいえ：ファイルを削除しません。

次ページに続く

3.

A-1.

設定により表示されるアイコンは異なります。

前ページから

●「一枚」を選択した場合

B-1. 一枚を選択する前に削除するファイルを
　　左／フラッシュボタンまたは右／再生ボタンを押して選択し、液晶モニターに表示します。

B-2. 「一枚」を選択し、シャッターボタンを押します。
　　上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、
　　シャッターボタンを押して決定します。

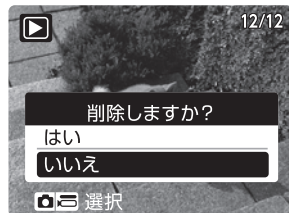
　　はい　：選択したァイルを削除します。

　　いいえ：ファイルを削除しません。

B-3. 続けて他のファイルを削除する場合は、B-1.から繰り返します。

◆ 削除したファイルは元に戻りませんのでご注意ください。

◆ 保護されたファイルは削除できません。

B-2.

設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画・動画再生メニュー

静止画・動画再生メニューを表示します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 右／再生ボタンを押し、再生メニューを表示します。
3. 左／フラッシュまたは右／再生ボタンを押して静止画ファイルを選択します。
4. メニューボタンを1秒以上長押しします。
5. 上／Tまたは下／Wボタンを押して項目を選択し、
   シャッターボタンを押してサブメニューを表示します。

◆ 黄色地が選択されています。
◆ 動画ファイル表示中にメニューボタンを長押しした場合は、
「保護」と「削除」のメニューが表示されます。

保護

ファイルの誤削除を防ぐため、ファイルを保護します。

1.「保護」を選択します。
2. シャッターボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押します。

一枚　　　　: 表示されているファイルを保護します。
全て保護　　: すべてのファイルを保護します。
全て保護解除: すべてのファイルの保護を解除します。

次ページに続く

1.

3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

前ページから

●「一枚」を選択した場合

A-1. 一枚を選択する前に保護するファイルを
左／フラッシュボタンまたは右／再生ボタンを押して選択し、液晶モニターに表示します。

A-2. 「一枚」を選択し、シャッターボタンを押します。

A-3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、
シャッターボタンを押して決定します。

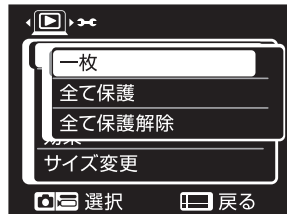
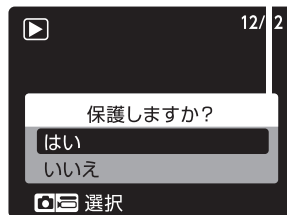
はい　：選択したファイルを保護します。

いいえ：ファイルを保護しません。

A-4. 再生メニューに戻ります。

A-5. 保護したファイルを選択し、「一枚」を選択した場合は、そのファイルの保護を解除します。

A-2.

A-3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

●「全て保護」を選択した場合

B-1.「全て保護」を選択し、シャッターボタンを押します。

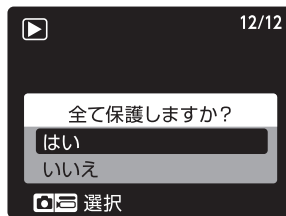
B-2. 上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

はい　：全てのファイルを保護します。

いいえ：ファイルを保護しません。

B-3. 再生メニューに戻ります。

B-1.

A-3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

●「全て保護解除」を選択した場合

C-1. 「全て保護解除」を選択し、シャッターボタンを押します。

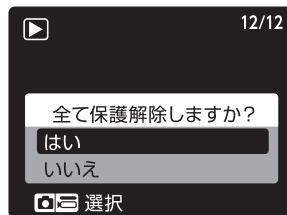
C-2. 上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、
シャッターボタンを押して決定します。

はい　：全てのファイルの保護を解除します。

いいえ：保護を解除しません。

C-3. 保護メニューに戻ります。

C-1.

C-2.

設定により表示されるアイコンは異なります。

削除

不要なファイルを削除します。

削除メニューと操作方法は同様です。
P.47「削除」をご覧ください。

スライドショー

メモリーに記録されている全ての静止画を一定間隔で表示します。

1. 「スライドショー」を選択します。
2. シャッターボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して「間隔」を選択し、
左／フラッシュまたは右／再生ボタンを押して表示時間を設定します。
4. 上／Tまたは下／Wボタンを押して「方法」を選択し、
左／フラッシュまたは右／再生ボタンを押して画面の切換方法を設定します。
5. 上／Tまたは下／Wボタンを押して「繰り返し」を選択し、
左／フラッシュまたは右／再生ボタンを押して繰り返しをするか設定します。
6. 上／Tまたは下／Wボタンを押して「開始」を選択し、
シャッターボタンを押すと、設定された条件でスライドショーを開始します。
7. スライドショーを終了する場合は、再度シャッターボタンを押します。
再生画面に戻ります。

◆ 静止画専用の機能になります。

1.

6.

設定により表示されるアイコンは異なります。

効果

撮影した静止画を編集(色効果を加える)し、印象の異なる写真にします。

1. あらかじめ効果を加える静止画を選択して液晶モニターに表示しておきます。
2. 「効果」を選択します。
3. シャッターボタンを押してサブメニューを表示します。
4. 上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、
   シャッターボタンを押して決定します。

白黒	:白黒画像にします。
セピア	:セピア画像にします。
ネガ	:ネガ画像にします。
モザイク	:全体をモザイク画像にします。
赤色	:赤色フィルターを装着したような画像にします。
緑色	:緑色フィルターを装着したような画像にします。
青色	:青色フィルターを装着したような画像にします。

5. 再生画面に戻ります。

◆ 静止画専用の機能になります。
◆ 編集された静止画は別ファイルとして保存されます。

2.

4.

設定により表示されるアイコンは異なります。

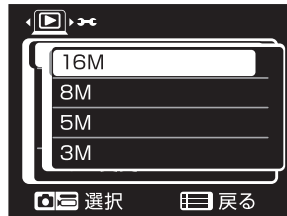
サイズ変更

撮影した静止画のサイズを変更します。

1. あらかじめ効果を加える静止画を選択して液晶モニターに表示しておきます。
2. 「サイズ変更」を選択します。
3. シャッターボタンを押してサブメニューを表示します。
4. 上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択し、
   シャッターボタンを押して決定します。
   16M：1600万画素にします。
   8M　：800万画素にします。
   5M　：500万画素にします。
   3M　：300万画素にします。
   VGA：30万画素にします。
5. 再生画面に戻ります。

◆ 静止画専用の機能になります。
◆ VGAサイズはe-mail等の添付に適したサイズになります。
◆ 大きいサイズに変更する場合は、ソフトウェア補間になりますのでお勧めしません。
あらかじめ大きなサイズで撮影してください。
◆ サイズ変更された静止画は、別ファイルとして保存されます。

2.

4.

設定により表示されるアイコンは異なります。

基本設定

設定メニュー

カメラの基本機能を設定します。

1. カメラの電源をオンにし、メニューボタンを押し「メニュー画面」を表示します。
2. 左／フラッシュボタンまたは右／再生ボタンを押して「設定メニュー 」を表示します。
3. 上／Tまたは下／Wボタン押して項目を選択して、
   シャッターボタンを押し、サブメニューを表示します。

◆ 黄色地が選択されています。

ビープ音（初期設定：オン）

カメラの操作音を設定します。

1. 「ビープ音」を選択します。
2. シャッターボタンを押して、サブメニューを表示します。
3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して、下記のいずれかを選択し、シャッターボタン押して決定します。
   - OFF オフ：ビープ音をオフにします。
   - ON オン：ビープ音をオンにします。
4. メニューボタンをもう一度押すと、撮影モードに戻ります。

◆ビープ音をオフに設定すると、起動音・シャッター音もオフになります。

設定により表示されるアイコンは異なります。

電源周波数(初期設定:50Hz)

撮影場所によって、正しい電源周波数を選択し、蛍光灯のチラツキを抑制します。

1. 「電源周波数」を選択します。
2. シャッターボタンを押して、サブメニューを表示します。
3. 上/tまたは下/wボタンを押して、下記のいずれかを選択し、シャッターボタン押して決定します。
   - 50Hz 50Hz:電源周波数を50Hzにします。
   - 60Hz 60Hz:電源周波数を60Hzにします。
4. メニューボタンをもう一度押すと、撮影モードに戻ります。

◆ 日本では50Hzと60Hzの交流電源が使われています。
静岡県の富士川から新潟県の糸魚川あたりを境に東側が50Hz、西側が60Hzです。

1.

3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

自動電源オフ(初期設定:3分)

カメラを操作しない時間が一定以上続くと、電力節約のため、カメラの電源が自動的にオフになります。

1.「自動電源オフ」を選択します。
2. シャッターボタンを押して、サブメニューを表示します。
3. 上/Tまたは下/Wボタンを押して、下記のいずれかを選択し、シャッターボタン押して決定します。
   - OFF オフ: 自動的にオフしません。
   - 1min 1分: 1分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。
   - 3min 3分: 3分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。
4. メニューボタンをもう一度押すと、撮影モードに戻ります。

1.

3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

言語

P.22「言語の設定」をご覧ください。

日時設定

P.21「日付／時刻の設定」をご覧ください。

フォーマット

P.18「メモリーのフォーマット」をご覧ください。

リセット（初期設定に戻す）

カメラの設定を工場出荷の状態に戻します。

1. 「リセット」を選択します。
2. シャッターボタンを押して、サブメニューを表示します。
3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して、下記のいずれかを選択し、シャッターボタン押して決定します。
   はい　：初期設定に戻します。
   いいえ：初期設定に戻しません。
4. メニューボタンをもう一度押すと、撮影モードに戻ります。

◆ 初期設定に戻す（リセット）しても日付／時刻もリセットされますのでご注意ください。
◆ 例えばEnglish（英語）を選択時にリセットしますと、
カメラの表示言語が日本語に戻りますのでご注意ください。

1.

フォーマット
リセット
Ver.
選択
戻る

3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

Ver.

カメラの情報を表示します。

設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画のプリント

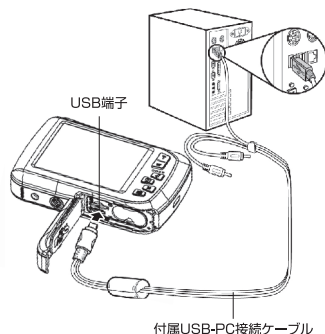
本機はDPS（ダイレクトプリントシステム）機能を装備していません。
静止画のプリントは、付属のUSB-PC/TV接続ケーブルでパソコンに接続またはSDカードリーダー（別売）を使用して
画像データをパソコンに取り込み、パソコンよりプリンターへ出力してください。
SDカードを直接プリンターに挿入（お使いのプリンターの取扱説明書をご覧ください。）してプリントができるプリンターもございます。
SDカードをカメラ店等に持参してプリントする方法もあります。

◆ プリント方法はカメラ店等にご相談ください。

パソコンとの接続

カメラとパソコンの接続

パソコンに接続する

1. パソコンの電源をオンにします。
2. 付属のUSB-PC接続ケーブルの小さいUSB端子(ミニUSB)をカメラに接続します。
3. もう一方のUSB端子(大きい)をパソコンに接続します。
   カメラの電源をオンにします。
   カメラの液晶モニターは表示しません。
   初めて接続した場合、パソコンのモニターに
   「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」と表示され、
   しばらくして「デバイスを使用する準備が出来ました」と表示されます。
4. 「スタート」→「コンピュータ」→「リムーバブルディスク」
   →「DCIM」→「100DSCIM」の順にクリックします。
   「100MEDIA」に動画･静止画のファイルがあります。

◆ USBハブや拡張USB ポートで接続した場合、カメラが認識されなかったり、
エラーメッセージが表示されることがあります。

◆ お使いのコンピュータにより表示が異なる場合があります。

◆ USB-PC接続ケーブルを外す場合は、各OSに適した安全な方法で行ってください。

マス ストレージ

カメラをパソコンに接続すると、カメラの内蔵メモリーまたはSDメモリカードのファイルが
マス ストレージ(記録媒体)として表示されます。ドライバのインストールは不要です。

転送時のご注意

画像をパソコンに取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。

- [リムーバブルディスク] からコピーしている際(画像取り込み時)は、USB-PC接続ケーブル、microSDメモリーカードを絶対に抜かないでください。内蔵メモリー、microSDメモリーカードが破損する恐れがあります。
- [リムーバブルディスク] 内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
- [リムーバブルディスク] 内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。カメラの動作が不安定になる原因になります。
- [リムーバブルディスク] をパソコンでフォーマットしないでください。
- [DCIM] フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。このフォルダにあるデータを削除してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

パソコンで再生する

静止画・動画を再生します。

1. カメラとパソコンを付属のUSB-PC接続ケーブルで接続します。(P.62「パソコンとの接続」をご覧ください。)
2. 対応OS(P.67「パソコンの動作環境」をご覧ください。)ですべての静止画が再生できます。
   同様に対応OSに標準装備の「Windows Media Player」で動画を再生できます。

◆ DSC 880DWには、補正・編集用ソフトウェアは付属していません。

トラブルシューティング

「故障かな?」と思ったらもう一度確認、点検してください。

カメラ操作時のトラブル

症状	原因	対策
電源が入らない。	電池の残量がないのでは?	新しい単4形アルカリ乾電池をセットしてください。(P.12参照) マンガン乾電池では充分な電力を得られませんので使用できません。
	電池が正しくセットされていないのでは?	電池の向きを確認して、正しい方向にセットしてください。(P.12参照)
カメラの電源が突然切れる。	電源の自動電源オフ機能が作動したのでは?	電源ボタンを押して、再度電源をオンにしてください。(P.14参照)
	電池の残量がないのでは?	新しい単4形アルカリ乾電池をセットしてください。(P.12参照)
画像が保存されない。	画像が保存される前に電池やmicroSDメモリーカードを取り外したのでは?	画像が保存される前に電池やmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。(P.15参照)
セルフタイマーを使用中に電源が切れる。	電池の残量がないのでは?	新しい単4形アルカリ乾電池をセットしてください。(P.12参照)
焦点が合わない。	撮影距離が適正でないのでは?	正しい距離で撮影してください。
メモリーカードが使用できない。	microSDメモリーカードに、他のカメラで撮影した画像等が含まれているのでは?	microSDメモリーカードを本製品でフォーマットしてください。(P.18参照)
すべてのボタンが作動しない。	ソフトウェアおよびハードウェアが何らかの刺激等を受けたのでは?	電池をカメラから取り外し、入れ直してください。(P.12参照)

仕様

記録可能枚数／時間の目安

microSD/SDHCメモリーカード

静止画

静止画サイズ	microSDHCメモリーカード					
	4GB			8GB		
	画質			画質		
	超高画質	高画質	標準	超高画質	高画質	標準
8M	1097枚	1746枚	2561枚	2201枚	3501枚	5135枚
5M	1719枚	2679枚	3973枚	3449枚	5375枚	7970枚
3M	2679枚	4116枚	6065枚	5375枚	8254枚	12164枚

動画

動画サイズ	microSDHCメモリーカード	
	4GB	8GB
VGA	48分07秒	1時間36分31秒
QVGA	1時間47分15秒	3時間35分07秒

◆ 撮影の状況･被写体によって記録されるファイルサイズが一定ではないため、記録可能枚数／時間に差が出ます。上記表は目安としてご参考ください

◆ 記録可能枚数／時間に達する前に電池がなくなる場合がございます。

仕様

イメージセンサー	1/3.2型　CMOS
総画素数	817万画素
有効画素数	約800万画素
レンズ	f = 1.8mm　F 2.8
35mm判フィルム換算	14mm相当
内蔵メモリー	ユーザー使用可能領域なし
外部メモリー	microSDメモリーカード　:128MB～2GB microSDHCメモリーカード:4GB～32GB
撮影距離	標準　:約15cm ～ ∞
ファイル形式	静止画:JPEG　動画:MJPEG(AVI)
静止画サイズ	8M、5M、3M、VGA
動画サイズ	VGA　:640×480（30fps） QVGA:320×240（30fps）
ズーム	デジタル4倍
液晶モニター	2.7型+1.8型(前面) TFT
セルフタイマー	オフ、10秒
シャッタースピード	静止画　1/2000～1/8秒
内蔵フラッシュ	モード:自動、強制発光、発光禁止 有効範囲:約1.2～1.6 m
ホワイトバランス	自動、太陽光、曇り、白熱灯、蛍光灯
露出補正	±2.0EV（1/3EVステップ）
電源	単4形アルカリ乾電池 2本
出入力ポート	USB 2.0
寸法	約97(W)X63(H)X28(D)mm
重量	約129g（付属品、電池を含まず） 約151g（電池、microSDメモリーカードを含む参考値）

■ 同梱品

カメラ本体、USB-PC接続ケーブル、ポーチ、ストラップ、
単4形アルカリ乾電池(2本)、取扱説明書

仕様

パソコンの動作環境

以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

●下記OSがプリインストールされたパソコン

●USBインターフェース（1.1以上）を標準装備したパソコン

Windows対応OS	
XP（SP3）／ Vista（32bit）／7（32bit/64bit）	
CPU	Intel Pentium 4　3.0GHz以上
メモリー	1GB以上（2GB以上を推奨）
ドライブ	CD-ROMドライブ必須
インターフェース	USB2.0

動作保証について

●動作環境を満たすパソコン中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

●Windows OSをアップグレードしたパソコンでは動作保証いたしません。

●USBハブや拡張USBボードに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。

●Mac OS X 10.6.8以降で動作しますが、サポート外となります。あらかじめご了承ください。